

四国電力株式会社
伊方発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003302号99

成績書管理番号：01

令和3年1月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：01

- 1 発電所名 四国電力株式会社伊方発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月9日
至 令和3年1月27日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



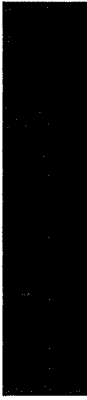
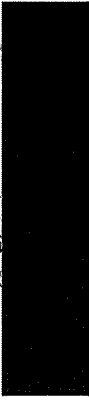

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原子力発第19473号(令和2年3月30日) 原子力発第20094号(令和2年6月17日) 原子力発第20310号(令和2年11月13日) 原子力発第20348号(令和2年11月30日) 原子力発第20401号(令和3年1月22日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月9日	良	平川 至  原、田 智 	ボイラー・タービン 主任技術者  発電用原子炉主任技術者  電気主任技術者 	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日：令和2年6月9日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和2年6月9日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
法令、規格、工事計画、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	(良)・一	

検査結果

判定基準	検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、認可した工事計画に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。	継続
総合所見	本検査は、非常用ガスタービン発電機設置工事に係る検査であり、品質管理の方法等に関する事項に従い行われていることを確認するものである。なお、下記3, 4, 5については次回以降の検査において継続的に確認する。
品質管理の方法等に関する所見	<p>1 品質保証の実施に係る組織 工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び供給者との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が規定類によって定められていることを確認した。 また、供給者の選定や管理が規定類に従って行われていることを確認した。</p> <p>2 保安活動の計画 工事及び検査に係る要求事項や組織体制等が明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）されていることを確認した。 また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認についても規程類によって定めていることを確認した。</p> <p>3 保安活動の実施 供給者（調達物品や役務を含む。）の管理について「調達仕様書」等により実施していることを確認した。 引き続き実施される保安活動の実施について、継続して確認する。</p>

	<p>4 保安活動の評価</p> <p>調達物品や役務、原子炉施設が要求事項に適合していることを実証するためのプロセスが明確にされており、計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価することが定められていることを確認した。また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても定められていることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の評価について、継続して確認する。</p>
	<p>5 保安活動の改善</p> <p>未然防止処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が定められていることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の改善について、継続して確認する。</p>
<p>備考</p>	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和2年 6月 9日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

使用前検査において確認した関連文書一覧表

関連文書の名称等	備考
<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力発電所品質保証基準 ・ 原子力部 設計／調達管理標準 ・ 伊方発電所検査および試験管理内規 ・ 伊方発電所工事管理内規 ・ 伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル ・ 適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領 ・ 伊方発電所保守内規 ・ 伊方発電所保守内規 細則－8 保修技術技能認定細則 ・ 標準発注仕様書 ・ 土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所） ・ 伊方発電所放射線管理仕様書 	
<p>2 保安活動の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力発電所品質保証基準 ・ 原子力部 設計／調達管理標準 ・ ヒューマンファクター事象等管理マニュアル ・ 伊方発電所検査および試験管理内規 ・ 伊方発電所工事管理内規 ・ 伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル ・ 適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領 ・ 伊方発電所定期事業者検査実施マニュアル ・ 伊方発電所不適合管理内規 ・ 伊方発電所保守内規 ・ 伊方発電所保守内規 細則－2 計測器管理細則 	

- ・伊方発電所保守内規 細則－ 3 保守作業管理細則
- ・伊方発電所予防処置管理内規 細則－ 1 ヒューマンファクター検討会議運営細則
- ・標準発注仕様書
- ・保守工事品質管理程度表
- ・土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所）
- ・設計及び工事計画認可申請（届出）書作成マニュアル

3 保安活動の実施

- ・原子力発電所品質保証基準
- ・原子力部 設計／調達管理標準
- ・原子力部 書類等管理標準
- ・伊方発電所安全運営委員会運営内規
- ・伊方発電所検査および試験管理内規
- ・伊方発電所工事管理内規
- ・伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル
- ・適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領
- ・伊方発電所作業要領書作成手引き
- ・伊方発電所調達管理内規
- ・伊方発電所文書・品質記録管理内規
- ・伊方発電所保守内規
- ・伊方発電所保守内規 細則－ 2 計測器管理細則
- ・伊方発電所保守内規 細則－ 3 保守作業管理細則
- ・標準発注仕様書
- ・保守工事品質管理程度表
- ・伊方発電所設計管理内規
- ・土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所）

4 保安活動の評価

- ・原子力部 設計／調達管理標準
- ・伊方発電所検査および試験管理内規
- ・伊方発電所工事管理内規
- ・伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル
- ・適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領
- ・伊方発電所不適合管理内規

<ul style="list-style-type: none">・標準発注仕様書・土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所） <p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none">・原子力発電所品質保証基準・伊方発電所品質保証運営委員会運営内規・伊方発電所不適合管理内規・伊方発電所予防処置管理内規	
---	--

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 1月27日	良	吉村 真樹 永川 圭司	ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted]	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年1月27日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年1月27日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
法令、規格、工事計画、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	(良) -	

検査結果

判定基準	検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、認可した工事計画に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。	良
総合所見	本検査は、非常用ガスタービン発電機設置工事に係る検査であり、品質管理の方法等に関する事項に従い行われていることを確認した。
品質管理の方法等に関する所見	<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <p>工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び供給者との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が規定類によって定められていることを確認した。</p> <p>また、供給者の選定や管理が規定類に従って行われていることを確認した。</p>
	<p>2 保安活動の計画</p> <p>工事及び検査に係る要求事項や組織体制等が明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）されていることを確認した。</p> <p>また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認についても規程類によって定めていることを確認した。</p>

	<p>3 保安活動の実施</p> <p>供給者（調達物品や役務を含む。）の管理について「調達仕様書」等により実施していることを確認した。</p> <p>また、設計及び検査計画の作成について、規程類に従い実施していることを確認した。</p>
	<p>4 保安活動の評価</p> <p>調達物品や役務、原子炉施設が要求事項に適合していることを実証するためのプロセスが明確にされており、計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価することが定められていることを確認した。また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても定められていることを確認した。</p> <p>工事及び検査において使用前検査に影響のある不適合が発生したため、事業者検査（適合性確認検査）の再検査を実施し、不適合・是正処置が適切に実施していることを確認した。</p>
	<p>5 保安活動の改善</p> <p>未然防止処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が定められていることを確認した。</p> <p>工事及び検査において使用前検査に影響のある不適合が発生したため、事業者検査（適合性確認検査）の再検査を実施し、不適合・是正処置が適切に実施していることを確認した。</p>
備 考	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年1月27日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

使用前検査において確認した関連文書一覧表

関連文書の名称等	備考
<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力発電所品質保証基準 ・ 原子力部 設計／調達管理標準 ・ 伊方発電所検査管理内規 ・ 伊方発電所工事管理内規 ・ 伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル ・ 適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領 ・ 伊方発電所施設管理内規 ・ 伊方発電所施設管理内規細則－8 保修技術技能認定細則 ・ 標準発注仕様書 ・ 土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所） ・ 伊方発電所放射線管理仕様書 <p>2 保安活動の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力発電所品質保証基準 ・ 原子力部 設計／調達管理標準 ・ ヒューマンファクター事象等管理マニュアル ・ 伊方発電所検査管理内規 ・ 伊方発電所工事管理内規 ・ 伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル ・ 適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領 ・ 伊方発電所定期事業者検査実施マニュアル ・ 伊方発電所品質保証総括内規 ・ 伊方発電所品質保証総括内規細則－2 改善措置活動管理細則 ・ 伊方発電所施設管理内規 	

- ・伊方発電所施設管理内規細則－ 2 計測器管理細則
- ・伊方発電所施設管理内規細則－ 3 保守作業管理細則
- ・伊方発電所品質保証総括内規細則－ 5 ヒューマンファクター検討
会議運営細則
- ・標準発注仕様書
- ・保守工事品質管理程度表
- ・土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所）
- ・設計及び工事計画認可申請（届出）書作成マニュアル

3 保安活動の実施

- ・原子力発電所品質保証基準
- ・原子力部 設計／調達管理標準
- ・原子力部 書類等管理標準
- ・伊方発電所安全運営委員会運営内規
- ・伊方発電所検査管理内規
- ・伊方発電所工事管理内規
- ・伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル
- ・適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領
- ・伊方発電所作業要領書作成手引き
- ・伊方発電所調達管理内規
- ・伊方発電所文書・品質記録管理内規
- ・伊方発電所施設管理内規
- ・伊方発電所施設管理内規細則－ 2 計測器管理細則
- ・伊方発電所施設管理内規細則－ 3 保守作業管理細則
- ・標準発注仕様書
- ・保守工事品質管理程度表
- ・伊方発電所設計管理内規
- ・土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所）

4 保安活動の評価

- ・原子力部 設計／調達管理標準
- ・伊方発電所検査管理内規
- ・伊方発電所工事管理内規
- ・伊方発電所使用前検査業務管理マニュアル
- ・適合性確認検査の計画及び要領書の作成要領

<ul style="list-style-type: none"> ・伊方発電所品質保証総括内規 ・伊方発電所品質保証総括内規細則－2 改善措置活動管理細則 ・標準発注仕様書 ・土木建築部 設計／調達管理標準（原子力発電所） <p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力発電所品質保証基準 ・伊方発電所品質保証運営委員会運営内規 ・伊方発電所品質保証総括内規 ・伊方発電所品質保証総括内規細則－2 改善措置活動管理細則 ・伊方発電所品質保証総括内規細則－4 未然防止処置管理細則 	
---	--

四国電力株式会社
伊方発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003302号99
成績書管理番号：02

令和2年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：02

- 1 発電所名 四国電力株式会社伊方発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月24日
至 令和2年6月24日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原子力発第19473号(令和2年3月30日) 原子力発第20094号(令和2年6月17日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月24日	良	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: black; width: 20px; height: 10px; margin-bottom: 5px;"></div> 福富 晋一 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: black; width: 20px; height: 10px; margin-bottom: 5px;"></div> 平川 圭司 </div>	電気主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div>	〇

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年 6月 24日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年 6月 24日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年 6月24日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 ガスタービン 発電機 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 絶縁耐力検査 機能検査 警報検査 インターロック検査 性能検査 運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： SIN3-GT5-0801 * 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)
(立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年6月24日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
ガスタービン 発電機	外観検査 通軌性能検査 警報検査 インターロック検査	別添2参照	良	目視
備考				

四国電力株式会社伊方発電所 3号機 使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年6月24日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査	発電機3号電力				2019年9月27日 2020年9月30日	発電機出力
運転性能検査	発電機3号(R-S相)電圧 発電機3号(S-T相)電圧 発電機3号(T-R相)電圧				2019年9月26日 2020年9月30日	発電機電圧
運転性能検査	発電機3号周波数				2019年9月27日 2020年9月30日	発電機周波数
運転性能検査	ガスタービン減速機3号 回転速度				2019年11月19日 2020年11月30日	発電機回転速度
運転性能検査	ガスタービン機関3A 回転速度				2019年11月19日 2020年11月30日	ガスタービン3A回転速度
運転性能検査	ガスタービン機関3B 回転速度				2019年11月19日 2020年11月30日	ガスタービン3B回転速度
運転性能検査	ガスタービン機関3A 排気温度(1)				2019年11月18日 2020年11月30日	ガスタービン3A出口温度(1)
運転性能検査	ガスタービン機関3A 排気温度(2)				2019年11月18日 2020年11月30日	ガスタービン3A出口温度(2)
運転性能検査	ガスタービン機関3B 排気温度(1)				2019年11月18日 2020年11月30日	ガスタービン3B出口温度(1)
運転性能検査	ガスタービン機関3B 排気温度(2)				2019年11月18日 2020年11月30日	ガスタービン3B出口温度(2)
運転性能検査	ガスタービン機関3A 入口潤滑油圧力				2019年11月19日 2020年11月30日	ガスタービン3A入口潤滑油圧力
運転性能検査	ガスタービン機関3B 入口潤滑油圧力				2019年11月19日 2020年11月30日	ガスタービン3B入口潤滑油圧力
運転性能検査	ガスタービン機関3A 入口潤滑油温度				2019年11月18日 2020年11月30日	ガスタービン3A入口潤滑油温度
運転性能検査	ガスタービン機関3B 入口潤滑油温度				2019年11月18日 2020年11月30日	ガスタービン3B入口潤滑油温度

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(1) ガスタービンに係る次の事項

イ ガスタービンの種類、出力、入口及び出口の圧力及び温度、設計外気温度、回転速度、被動機一体の危険速度、排出ガス量、個数並びに取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	一		
出 力	kW/個		5,200
入 口 圧 力	MPa		
出 口 圧 力	MPa		
入 口 温 度	℃		
出 口 温 度	℃		
設 計 外 気 温 度	℃		40
回 転 速 度	min ⁻¹		18,000 (注1)
被 動 機 一 体 の 危 険 速 度	min ⁻¹		一次 二次 三次
排 出 ガ ス 量	m ³ /h/個		
個 数	—		1

ハ 調速装置及び非常調速装置の種類

		変更前	変更後	
			非常用ガスタービン 発電機調速装置	非常用ガスタービン 発電機非常調速装置
名	称			
種	類	—	電気式	電気式

(5) 発電機に係る次の事項
 イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）
 ・常設

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	—		非常用ガスタービン発電機
容 量	kVA/個		6,000
主 要 寸 法	た	mm	3,205 (E1)
	横	mm	2,200 (E1)
	高	mm	1,973 (E1)
力 率	%		80 (遅れ)
電 圧	V		6,900
相	—		3
周 波 数	Hz		60
回 転 速 度	min ⁻¹		1,800
結 線 法	—		星形
冷 却 方 法	—		空冷
個 数	—		1

口 励磁装置の名称、種類、容量、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

（非常用ガスタービン発電機）

名称		変更前	変更後
名	種		
非常用ガスタービン発電機励磁装置	—		
容	量 kW/個		50
個	数		1
取付箇所	系統名 (ライン名)		非常用ガスタービン発電機
	設置床		非常用ガスタービン発電機建屋 EL. 32.725m
	溢水防護上の区画番号		GT-2-B
	溢水防護上の高さ 配慮が必要な高さ		EL. 32.725m以上

ハ 保護継電装置の名称及び種類
(非常用ガスタービン発電機)

		変 更 前	変 更 後
名	称		非常用ガスタービン発電機保護継電器
種	類	—	(a) 自動遮断用 比率差動継電器 過電流継電器 (b) 警報用 地絡過電圧継電器 過電圧継電器 過負荷継電器 低電圧継電器

ニ 原動機との連結方法
(非常用ガスタービン発電機)

	変 更 前	変 更 後
連 結 方 法	—	直結

機能・性能検査（運転性能検査）記録

検査年月日 令和二年6月24日

1. 非常用ガスタービン発電機

分類	項目	判定基準	測定値	検査方法	結果	備考
非常用ガスタービン発電機	発電機容量			目視	良	※1
	発電機出力			目視	良	
	発電機電圧			目視	良	
	発電機周波数			目視	良	
	発電機回転速度			目視	良	
	ガスタービン3A回転速度			目視	良	
	ガスタービン3B回転速度			目視	良	
	ガスタービン3A出口温度(1)			目視	良	メーカー基準
	ガスタービン3A出口温度(2)			目視	良	メーカー基準
	ガスタービン3B出口温度(1)			目視	良	メーカー基準
	ガスタービン3B出口温度(2)			目視	良	メーカー基準
	ガスタービン3A入口潤滑油圧力			目視	良	メーカー基準
	ガスタービン3B入口潤滑油圧力			目視	良	メーカー基準
	ガスタービン3A入口潤滑油温度			目視	良	メーカー基準
	ガスタービン3B入口潤滑油温度			目視	良	メーカー基準
	運転状態			目視	良	

運転記録参照

- ※1 発電機の容量については、以下の算出式により求める。
算出式：発電機容量 (kVA) = 発電機出力 (kW) / 力率 0.8^{※3}
小数点以下、切り下げ。
- ※2 JEC-2131 に基づく。
- ※3 発電機力率は工事計画の表記（機器銘板の表記）

非常用ガスタービン発電機 運転性能検査

運転 時間	出力 (目標)	ガスタービン 3 A 出口温度 (1) (°C)	ガスタービン 3 A 出口温度 (2) (°C)	ガスタービン 3 B 出口温度 (1) (°C)	ガスタービン 3 B 出口温度 (2) (°C)	ガスタービン 3 A 入口潤滑 油圧力 (MPa)	ガスタービン 3 B 入口潤滑 油圧力 (MPa)	ガスタービン 3 A 入口潤滑 油温度 (°C)	ガスタービン 3 B 入口潤滑 油温度 (°C)
		機器番号							
0分	100%								
10分	100%								
20分	100%								
30分	100%								
40分	100%								
50分	100%								
60分	100%								

非常用ガスタービン発電機 運転性能検査

運転時間	出力 (目標)	発電機 容量 (kVA) ※1	発電機 出力 (kW)	発電機電圧 (V)			発電機 周波数 (Hz)	発電機 回転速度 (min ⁻¹) ※2	ガスタービン 3 A 回転速度 (min ⁻¹) ※3	ガスタービン 3 B 回転速度 (min ⁻¹) ※3	異音・異臭等 の有無
				R-S	S-T	T-R					
[Redacted Data]											
機器番号											
0分	100%										
10分	100%										
20分	100%										
30分	100%										
40分	100%										
50分	100%										
60分	100%										

※1 発電機の容量については、以下の算出式により求める。

算出式：発電機容量 (kVA) = 発電機出力 (kW) / 力率 0.8 ※4

小数点以下、切り下げ。

※2 100%=1,800 min⁻¹で換算する。

※3 100%=18,000 min⁻¹で換算する。

※4 発電機力率は工事計画の表記（機器銘板の表記）

警報検査、インターロック検査

検査年月日 令和 2年6月24日

1. 非常用ガスタービン発電機

項目	判定基準			検査方法	結果	備考
	ガスタービン発電機 停止※1	遮断器 トリップ※2	警報表示※3			
非常停止	ロックアウトリレー「動作」	シンボル表示「切」	警報表示「表示」	目視	良	
発電機地絡	—	—	警報表示「表示」	目視	良	
発電機過電圧	—	—	警報表示「表示」	目視	良	
発電機過負荷	—	—	警報表示「表示」	目視	良	
発電機低電圧	—	—	警報表示「表示」	目視	良	

※1 ガスタービン発電機停止：発電機盤にて86GTロックアウトリレーが動作すること。

※2 遮断器トリップ：監視操作盤にて遮断器（52GTG3）のシンボル表示が「切」表示となること。

※3 警報表示：監視操作盤にて各項目の警報が表示されること。

四国電力株式会社
伊方発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003302号99

成績書管理番号：03

令和2年 6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：03

- 1 発電所名 四国電力株式会社伊方発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月23日
至 令和2年6月24日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原子力発第19473号 (令和2年3月30日) 原子力発第20094号 (令和2年6月17日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：03

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月23日 24	良	福富 晋一 采川 圭司	株式会社タービン 主任技術者	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：03

検査年月日：令和2年 6月 23日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和2年 6月23日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和2年 6月²³/₂₄日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 運転性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：SIN3-GT5-0804 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)
(立会検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和2年 6月24日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
燃料設備	運転性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	別添2参照	良	目視
備考				

四国電力株式会社伊方発電所 3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：03

検査年月日：令和2年 6月 29日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量確認検査	燃料油サービスタンク 3号燃料油油面(1)				2019年12月14日 2020年12月31日	燃料油サー ビスタンク
容量確認検査	燃料油貯油槽 3A 燃料油油面				2019年12月18日 2020年12月31日	燃料油貯油 槽 3A
容量確認検査	燃料油貯油槽 3B 燃料油油面				2019年12月18日 2020年12月31日	燃料油貯油 槽 3B

(4) 燃料設備に係る次の事項

イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

名	称		変 更 前	変 更 後
	種 類	一		
				非常用ガスタービン発電機 燃料油移送ポンプ
容	量	m ³ /h/個		■ 以上 (注1) (4.4 (注2))
揚	程	m		■ 以上 (注1) (30 (注2))
最 高 使 用 圧 力		MPa		0.5 (注1)
最 高 使 用 温 度		℃		40 (注1)
主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		40 (注2)
	吐 出 口 径	mm		25 (注2)
	た て	mm		270 (注2)
	横	mm		550 (注2)
高	さ	mm		220 (注2)
材 料	ケ ー シ ン グ	—		SCS13
個	数	—		1

ロ 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

名称		変 更 前	変 更 後
名	種 類		
	非常用ガスタービン発電機 燃料油サージタンク		
容	量	kg/個	以上 (注1) (1.95 (注2))
最 高 使 用 圧 力		MPa	大気圧 (注1)
最 高 使 用 温 度		°C	40 (注1)
洞	内 径	mm	1,030 (注2)
	板 厚 さ	mm	■ (6 (注2))
	鏡 板 厚 さ	mm	■ (6 (注2))
鏡板の形状に係る寸法		mm	1,030 (注2, 3) 103 (注2, 4)
入 口 管 台 外 径		mm	48.6 (注2)
入 口 管 台 厚 さ		mm	■ (3.7 (注2))
出 口 管 台 外 径		mm	48.6 (注2)
出 口 管 台 厚 さ		mm	■ (3.7 (注2))
全	長	mm	2,762 (注2)

常設

名称		変更前	変更後
名	非常用ガスタービン発電機 燃料油貯油槽		
種	横置円筒形		
容	以上 (注1) (200.0 (注2))		
最	最高使用圧力	大気圧 (注1)	
最	最高使用温度	40 (注1)	
主要寸法	胴内径	4,600 (注2)	
	胴板厚さ	■ (20 (注2))	
	銃板厚さ	■ (20 (注2))	
	銃板の形状に係る寸法	4,600 (注2, 3) 460 (注2, 4)	
	燃料油取出口管台外径	60.5 (注2)	
	燃料油取出口管台厚さ	■ (3.9 (注2))	
	全長	13,824 (注2)	

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し、可搬型の場合は個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
非常用発電装置						非常用ガスタービン 発電機 燃料油貯油槽 ～ 非常用ガスタービン 発電機 燃料油移送ポンプ	(注2) 0	(注2) 40	60.5	3.9	STPT370
非常用発電装置							(注2) 0.5	(注2) 40	60.5	3.9	STPT370
							(注2) 0.5	(注2) 40	48.6	3.7	STPT370

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
						非常用ガスタービン 発電機 燃料油移送ポンプ ~ 非常用ガスタービン 発電機 燃料油サービスタング	(注2) 0.5	(注2) 40	34.0	3.4	STPT370
							(注2) 0	(注2) 40	48.6	3.7	STPT370
					非常用ガスタービン 発電機 燃料油サービスタング ~ 燃料油こし器	(注2) 0	(注2) 40	48.6	48.6	3.7	STPT370
							(注2) 0	(注2) 40	48.6	42.7	3.6
非常用発電装置						非常用発電装置					

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
非常用発電装置						燃料油こし器 ～ 非常用ガスタタービン 発電機 ガスタタービン	(注2) 0	(注2) 40	42.7	3.6	STPT370
非常用発電装置									60.5	3.9	STPT370

(注1) 公称値

(注2) 重大事故等時における使用時の値

伊方発電所第3号機 運転性能検査		
検査年月日:令和2年6月24日		
検査範囲:その他発電用原子炉の附属施設非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 ポンプ		
判定基準	ポンプの運転時に異音、異臭等の異常がないこと。	
名 称	検査方法	検査結果
非常用ガスタービン発電機 燃料油移送ポンプ	目視	良
備考		

伊方発電所第3号機 容量確認検査記録				
検査年月日：令和2年 0月24日				
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設非常用電源設備のうち非常用発電装置の燃料設備 (容器)				
判定基準	工事計画のとりの設計結果を満足すること。			
名 称	工事計画 記載値 (kℓ/個)	測定値 (kℓ/個)	検査方法	検査結果
非常用ガスタービン発電機 燃料油サービスタンク	■ 以上注1	■	目視	良
非常用ガスタービン発電機 燃料油貯油槽 3A	■ 以上注1	■	目視	良
非常用ガスタービン発電機 燃料油貯油槽 3B	■ 以上注1	■	目視	良
備考				
注1 設計確認値				

伊方発電所第3号機 燃料給油検査		
検査年月日: 昭和2年 6月24日		
検査範囲: その他発電用原子炉の附属施設非常用電源設備のうち非常用発電装置の燃料設備(主配管)		
判定基準	異常なく通油できること。	
名 称	検査方法	検査結果
非常用ガスタービン発電機 燃料油貯油槽 3B ～ 非常用ガスタービン発電機 燃料油移送ポンプ	目視	良
非常用ガスタービン発電機 燃料油移送ポンプ ～ 非常用ガスタービン発電機 燃料油サービスタンク	目視	良
非常用ガスタービン発電機 燃料油サービスタンク ～ 燃料油こし器	目視	良
燃料油こし器 ～ 非常用ガスタービン発電機 ガスタービン	目視	良
備考		

四国電力株式会社
伊方発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003302号99
成績書管理番号：04

令和2年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：04

- 1 発電所名 四国電力株式会社伊方発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月25日
至 令和2年6月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原子力発第19473号(令和2年3月30日) 原子力発第20094号(令和2年6月17日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月25日	良	福富 晋一 平川 圭司	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：04

検査年月日：令和2年 6月 25日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和2年 6月 25日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
システム構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和2年 6月 25日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物 非常用ガスタービン発電機建屋 非常用ガスタービン発電機燃料油貯油槽 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立・据付検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：SIN 3-GT5-1101 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
 (五号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和2年6月25日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
火災区域構造物及び火災区 画構造物 非常用ガスタービン発電 機建屋	寸法検査*1	■■■■ mm	良	目視
	外観検査*2	-	良	
	組立・据付検査*3	-	良	
備考 *1：火災区画■■■■と■■■■間の壁の主要寸法について確認 *2：火災区画■■■■の内側について確認 *3：火災区画■■■■について確認				

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日：令和2年6月25日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	██████████ (コンパッス)	██████████	██████████	██████████	2019年12月16日 (-)	
寸法検査	██████████ (コンパッス)				2019年12月16日 (-)	
以下余白						

4 火災防護設備
 1 火災区域構造物及び火災区域構造物の名称、種類、主要寸法及び材料

・非常用ガスタタービン発電機建屋

変 更 前					変 更 後						
名	称		種類	主要寸法 (mm)	材料	名	称		種類	主要寸法 (mm)	材 料
	火災区域 (区画) 名称	区分					番号	火災区域 (区画) 名称			
						空調機器室 (A)					
						非常用ガスタタービン制御用蓄電池室					
						非常用ガスタタービン発電機室					
						非常用ガスタタービン発電機建屋 EL. 32.7m 避難用エリア					
						非常用ガスタタービン発電機制御室					
						電気機検室 1					
						電気機検室 2					
						第 3 蓄電池室					
						ケーブルスペース					
						機器予備室					
						空調機器室 (B)					
						非常用ガスタタービン発電機建屋 EL. 41.0m 避難用エリア					
						非常用ガスタタービン電気室					
						空調機検室					

(続き)

変更前					変更後					
名称		種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号			火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	-	-	-	-	第3直流電源設備室	火災区画	-	-	300 (mm)	鉄筋 コンクリート
					空調機器室 (C)	火災区画	-	-		

(注1) 公称値のうち最小のもの。

・非常用ガスタービン発電機燃料油貯油槽

変更前					変更後					
名称		種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号			火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	-	-	-	-	燃料油貯油槽 (A)	火災区画	-	-	1000 (mm)	鉄筋 コンクリート
					燃料油貯油槽 (B)	火災区画	-	-		

(注1) 公称値のうち最小のもの。

四国電力株式会社
伊方発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003302号99

成績書管理番号：05

令和3年1月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：05

- 1 発電所名 四国電力株式会社伊方発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年11月26日
至 令和3年1月27日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

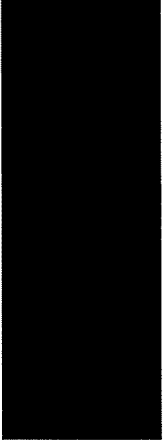
検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原子力発第19473号 (令和2年 3月30日) 原子力発第20094号 (令和2年 6月17日) 原子力発第20310号 (令和2年11月13日) 原子力発第20348号 (令和2年11月30日) 原子力発第20401号 (令和3年 1月 22日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：05

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 11月26日	良	吉村直穂	ボイラー・ダービン 主任技術者 	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：05

検査年月日：令和2年11月26日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：05

検査年月日：令和2年11月26日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：05

検査年月日：令和2年11月26日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 容器 主配管 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・運転性能検査*1 ・通水検査*2	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： SIN3-GT1-1102 SIN3-GT1-1114, SIN3-GT1-1115 *1：容量確認検査(ハドYボック) *2：通気検査(ハドY消火配管)			

別添(1)
(令和2年11月26日)

2 消火設備に係る次の事項

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

			変更前	変更後
名 称				ハロンボンベ (非常用ガスタービン発電機建屋)
種 類	—			溶接容器
容 量	ℓ/個			■以上 (注1)
最 高 使 用 圧 力	MPa		—	5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		267.4 (注1)
	高 さ	mm		1,515 (注1)
	胴 部 厚 さ	mm		■以上 (注1)
	底 部 厚 さ	mm		■以上 (注1)
材 料	—			SM520B
個 数	—			19

別添1(2)
(令和2年11月26日)

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
						グループG1 ～ 弁3V-FSG-09, 弁3V-FSG-10, 弁3V-FSG-11, 弁3V-FSG-12, 弁3V-FSG-13, 弁3V-FSG-14 及び弁3V-FSG-15	5.2	40	42.7 48.6 76.3 89.1	3.6 3.7 5.2 5.5	SUS304TP
消 火 設 備											
						弁3V-FSG-11 ～ GT/B-4	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						弁3V-FSG-12 ～ GT/B-3	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP
						弁3V-FSG-15 ～ GT/B-13	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP
						弁3V-FSG-14 ～ GT/B-12	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						弁3V-FSG-10 ～ GT/B-15	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
消 火 設 備											

別添1(3)
(令和2年11月26日)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						弁3V-FSG-09 ~ GT/B-7	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
						弁3V-FSG-13 ~ GT/B-6	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
						GT/B-6 ~ GT/B-14	5.2	40	60.5 76.3	3.9 5.2	SUS304TP
						ゲループ62 ~ GT/B-5	5.2	40	60.5 89.1	3.9 5.5	SUS304TP
						ゲループG3 ~ 弁3V-FSG-04, 弁3V-FSG-05, 弁3V-FSG-06 及び弁3V-FSG-07	5.2	40	48.6 89.1	3.7 5.5	SUS304TP
消火設備						消火設備					

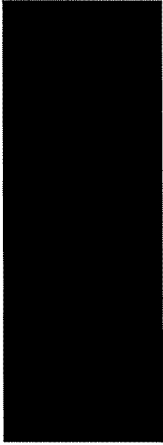
別添1(4)
(令和2年11月26日)

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
						弁3V-FSG-06 ~ GT/B-11	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP
						グループG4 ~ 弁3V-FSG-01, 弁3V-FSG-02 及び弁3V-FSG-03	5.2	40	34.0 42.7 89.1	3.4 3.6 5.5	SUS304TP
						弁3V-FSG-01 ~ GT/B-8	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP
						弁3V-FSG-03 ~ GT/B-16	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP
						弁3V-FSG-02 ~ GT/B-9	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
消火設備						消火設備					

(注1) 公称値

検査結果一覧表

成績書管理番号：05

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会い責任者	特記事項
令和3年 1月27日	良	吉村直樹 平川 圭司	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：05

検査年月日：令和3年 1 月 27 日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：05

検査年月日：令和3年 1月 27日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：05

検査年月日：令和3年1月27日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 主配管 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号 ・目視で確認した範囲：別添1参照			

別添1
(令和3年1月27日)

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し、可搬型の場合は、個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変 更 前		変 更 後				
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	材 料
消 火 設 備	—	—	—	—	—	非常用ガスタワービン発電機 建屋付近屋外消火栓 供給ライン分岐点
						非常用ガスタワービン発電機 建屋屋外消火栓 供給ライン分岐点
						非常用ガスタワービン発電機 建屋屋外消火栓 供給ライン分岐点
消 火 設 備	—	—	—	—	—	非常用ガスタワービン発電機 建屋消火水 供給ライン分岐点
						非常用ガスタワービン発電機 建屋消火水 供給ライン分岐点

(注1) 公称値

四国電力株式会社
伊方発電所第3号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003302号99
成績書管理番号：06

令和3年1月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：06

- 1 発電所名 四国電力株式会社伊方発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年11月26日
至 令和3年1月27日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原子力発第19473号 (令和2年 3月30日) 原子力発第20094号 (令和2年 6月17日) 原子力発第20310号 (令和2年11月13日) 原子力発第20348号 (令和2年 11月30日) 原子力発第20401号 (令和3年 1月 22日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：06

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 11月26日	—※	吉村直樹	ボイラー・タービン 主任技術者 XXXXXXXXXX 発電用原子炉主任技術者 XXXXXXXXXX 電気主任技術者 XXXXXXXXXX	※事業者が検査対象設備の異常を確認したため、中断しました。

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：06

検査年月日：令和2年11月26日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

検査結果一覧表

成績書管理番号：06

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 1月27日	良	吉村直樹 平川圭司	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted] 発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted]	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：06

検査年月日：令和3年 1月 27日

検査場所：四国電力株式会社伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機

使用前検査記録 検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	令和3年 1月27日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	令和3年 1月27日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号： 06

検査年月日： 令和3年 1月 27日

検査場所： 四国電力株式会社伊方発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認結果
発電用原子炉施設 (共通項目)	原子炉冷却系統 施設 自然現象	<p>2.1 地震による損傷の防止</p> <p>2.1.1 耐震設計</p> <p>2.1.1.1 設計基準対象施設及び重大事故等対処施設 常設耐震重要重大事故防止設備又は常設重大事故 緩和設備が設置される重大事故等対処施設は、基準 地震動による地震力に対して、重大事故等に対処す るために必要な機能が損なわれるおそれがない設計 とする。動的機器については、当該機器の構造、動 作原理等を考慮した評価を行うこと、又は既往研究 で機能維持の確認がなされた機能確認済加速度を 超えていないことを確認することにより、当該機器 に要求される機能を保持する設計とする。</p> <p>確認対象：非常用ガスタービン制御用蓄電池及び 非常用ガスタービン始動用蓄電池の支持構造物が工 事計画とおりにであること</p>	SIN3-GT 基-0802	非常用ガスター ビン制御用蓄電 池及び 非常用ガスター ビン始動用蓄電 池の支持構造物	保安活動が基本設計 方針に従って行わ れ、設備及び機器が 基本設計方針に従い 製作され、据付けさ れ、所定の性能を有 しており、技術基準 に適合するものであ ること。	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認結果
計測制御系統施設	通信連絡設備	<p>1.4.1 通信連絡設備 (発電所内)</p> <p>1 次冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常の際に、中央制御室等から人が立ち入る可能性のある原子炉建屋、タービン建屋等の建屋内外各所の人に操作、作業、退避の指示、事故対策のための集合等の連絡をブザー鳴動及び音声等により行うことができる設備として、十分な数量の警報装置 (運転指令設備 (一部「1号機設備」を含む。 (以下同じ。))) 及び通信設備 (発電所内)) を設置又は保管する。通信設備 (発電所内) としては、十分な数量の運転指令設備、電力保安通信用電話設備 (一部「1号機設備」を含む。 (以下同じ。))、無線通信設備、緊急時用携帯型通話設備及び衛星電話設備を設置又は保管し、多様性を確保した設計とする。</p> <p>確認対象：多様性を確保した通信設計</p>	<p>SIN3-GT 基-0401</p> <p>SIN3-GT 基-0402</p>	<p>運転指令設備</p> <p>電力保安通信用電話設備</p>	<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認結果
その他発電用原子炉の附属施設	2.2 常設代替電源設備 設計基準事故対処設備の電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等時に対処するため、非常用ガスタービン発電機又は空冷式非常用発電装置を中央制御室の操作にて速やかに起動し、非常用高圧母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。非常用ガスタービン発電機は、非常用ガスタービン発電機メタルラッド閉閉装置を経由して、非常用高圧母線へ接続する設計とする。 確認対象：非常用ガスタービン発電機を中央制御室にて速やかに起動できること。	SIN3-GT 基-0805	中央制御室における、非常用ガスタービン発電機監視操作継	保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けられ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認結 果
その他発電用原子炉の附属施設	火災防護設備 火災感知設備	<p>1.1 設計基準対象施設及び重大事故等対処施設 (2) 火災の感知及び消火 a. 火災感知設備 火災感知設備のうち火災感知器（「3号機設備」、 「3号機設備、1, 2, 3号機共用（2-固体廃棄物貯蔵庫）」及び「1号機設備、1, 2, 3号機共用（1-固体廃棄物貯蔵庫、焼却炉建家、雑固体処理建屋及び蒸気発生器保管庫）」（以下同じ。））は、火災区域又は火災区画における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件、想定される火災の性質や、火災防護上重要な機器等の種類を考慮し、火災を早期に感知できるよう、固有の信号を発生するアナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器、アナログ式ではないが、炎が発生する赤外線又は紫外線を感知するため、煙や熱が感知器に到達する時間遅れがなく、火災の早期感知に優位性がある炎感知器から異なる種類の火災感知器を組み合わせて設置する設計を基本とし、一部の火災感知器は、放射線等の環境条件を考慮し、非アナログ式の熱感知器、非アナログ式の防曝型の熱感知器、非アナログ式の防曝型の煙感知器、非アナログ式の屋外仕様の炎感知器等を選定する設計とする。</p> <p>確認対象：炎感知器、煙感知器及び熱感知器の適切な配置</p>	SIN3-GT 基-1112	炎感知器(赤外線) 煙感知器 熱感知器	保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けられ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認結果
計測制御系統施設	計測装置等	<p>1.2.1 計測装置</p> <p>(5) 原子炉格納容器からアニュラス部に漏えいした水素濃度の計測</p> <p>アニュラス水素濃度 (AM) 計測装置は、ディーゼル発電機に加えて、代替電源設備である非常用ガスタービン発電機又は空冷式非常用発電装置から給電できる設計とする。</p> <p>確認対象：アニュラス水素濃度 (AM) 計測装置へ非常用ガスタービン発電機から給電できること。</p>	SIN3-GT 基-0805	—	保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認結 果
原子炉格納施設	圧力低減設備そ の他の安全設備	<p>2.4可燃性ガス濃度制御設備</p> <p>2.4.3アニュラスからの水素排出 全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合に用 いる水素排出設備（アニュラス空気再循環設備によ る水素排出）としてアニュラス排気ファンは、ディ ーゼル発電機に加えて、代替電源設備である非常用 ガスタービン発電機又は空冷式非常用発電装置から 給電できる設計とする。また、アニュラス排気系空 気作動弁は、窒素ボンベ（アニュラス排気系空気が 動弁用）により代替空気を供給し、代替電源設備で ある非常用ガスタービン発電機又は空冷式非常用発 電装置によりアニュラス排気系空気が駆動用空 気配管の電磁弁を開弁することで開操作できる設計 とする。</p> <p>確認対象：アニュラス排気ファン及びアニュラス排 気系空気が作動弁が、非常用ガスタービン発電機の給 電により操作できること</p>	<p>SIN3-GT 基-0805</p>	—	<p>保安活動が基本設 計方針に従って行 われ、設備及び機 器が基本設計方針 に従い製作され、 据付けされ、所定 の性能を有してお り、技術基準に適 合するものである こと。</p>	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認結果
放射線管理施設	放射線管理用計測装置	<p>1.1.2エリアモニタリング設備 可搬型使用済燃料ピットエリアモニタは、ディゼル発電機に加えて、代替電源設備である非常用ガスタービン発電機又は空冷式非常用発電装置から給電できる設計とする。</p> <p>確認対象：可搬型使用済燃料ピットエリアモニタへ非常用ガスタービン発電機から給電できること。</p>	SIN3-GT 基-0805	—	保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

四国電力株式会社
伊方発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003302号99

成績書管理番号：07

令和2年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：07

- 1 発電所名 四国電力株式会社伊方発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月23日
至 令和2年11月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録





検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原子力発第19473号 (令和2年 3月30日) 原子力発第20094号 (令和2年 6月17日) 原子力発第20310号 (令和2年11月13日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：07

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月23日	良	福富 晋一  平川 至 	ボイラー・タービン 主任技術者  電気主任技術者 	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年 6月 23日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⓪良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⓪良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⓪良・一	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年6月23日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年 6月 23日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 ガスタービン (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査 (検査記録の確認検査) ・組立て及び据付け状態を確認する検査 ・取付箇所確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： SIN3-GTI-0801			

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年6月23日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 発電機 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査 (検査記録の確認検査) ・寸法検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査 ・取付箇所確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：SIN3-GT1-0801			

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年6月23日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査 (検査記録の確認検査) ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査 ・耐圧・漏えい検査 ・取付箇所確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：SIN3-GT1-0804			

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(1) ガスタービンに係る次の事項

イ ガスタービンの種類、出力、入口及び出口の圧力及び温度、設計外気温度、回転速度、被動機一体の危険速度、排出ガス量、個数並びに取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

称		変 更 前	変 更 後
名	種 類		
			非常用ガスタービン発電機 ガスタービン
出	力		5,200
入	口 圧 力		
出	口 圧 力		
入	口 温 度		
出	口 温 度		
設 計 外 気 温 度	度		40
回 転 速 度	度		18,000 (準1)
被 動 機 一 体 の 危 険 速 度	度		
排 出 ガ ス 量	m ³ /h/個		
個 数			1

(続き)

		変 更 前	変 更 後
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	非常用ガスタービン発電機
	設 置 床	—	非常用ガスタービン発電機建屋 EL. 32.7m
	溢水防護上の区画番号	—	GT-2-A
	溢水防護上の配慮が 必 要 な 高 さ	—	EL. 33.5m 以上

(注1) ガスタービン主軸における値

(注2) 0℃、1気圧における排出ガス量

ハ 調速装置及び非常調速装置の種類

		変更前	変更後	
			非常用ガスタービン 発電機調速装置	非常用ガスタービン 発電機非常調速装置
名	称	—	非常用ガスタービン 発電機調速装置	非常用ガスタービン 発電機非常調速装置
種	類		電気式	電気式

(4) 燃料設備に係る次の事項
 イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所(常設及び可搬型の
 別に記載すること。)

・常設

名		称		変	更	前	変	更	後
種	類	—	—						
容	量	m ³ /h/個							非常用ガスタービン発電機 燃料油移送ポンプ
揚	程	m							うず巻形
最	高	使用	圧	力	MPa				0.5 (注1)
最	高	使用	温	度	℃				40 (注1)
吸	込	口	径		mm				40 (注2)
吐	出	口	径		mm				25 (注2)
た			て		mm				270 (注2)
		横			mm				550 (注2)
高		さ			mm				220 (注2)
材	ケ	ー	シ	ン	グ				SCS13
個		数			—				1

(続き)

		変 更 前	変 更 後
ボ ン プ	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	非常用ガスタタービン発電機 燃料油移送ポンプ
	取 付 箇 所	—	非常用ガスタタービン発電機燃料油ライン
ア	設 置 床	—	非常用ガスタタービン発電機建屋 EL.24.85m
	溢水防護上の区画番号	—	GT-1-A
原 動 機	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	EL.25.2m以上
	種 類	—	三相誘導電動機
出 力	力 kW/個	—	2.2
個 数	数	—	1
取 付 箇 所	所	—	ポンプと同じ

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

口 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

変 更 後		変 更 前	
名 称	非常用ガスタービン発電機 燃料油サービスタング		
種 類	横置円筒形		
容 量	以上 (注1) (1.95 (注2))		
最 高 使 用 圧 力	大気圧 (注1)		
最 高 使 用 温 度	40 (注1)		
主要寸法			
胴 内 径	1,030 (注2)		
胴 板 厚 さ	■ (6 (注2))		
鏡 板 厚 さ	■ (6 (注2))		
鏡板の形状に係る寸法	1,030 (注2、3) 103 (注2、4)		
入 口 管 台 外 径	48.6 (注2)		
入 口 管 台 厚 さ	■ (3.7 (注2))		
出 口 管 台 外 径	48.6 (注2)		
出 口 管 台 厚 さ	■ (3.7 (注2))		
全 長	2,762 (注2)		

(続き)

		変 更 前	変 更 後
材 質	板	—	SM400B
	鏡	—	SM400B
個	数	—	1
	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	非常用ガスタービン発電機 燃料油サービスタンク 非常用ガスタービン発電機燃料油ライン
取 付 箇 所	設 置 床	—	非常用ガスタービン発電機建屋 BL.37.5m
	溢水防護上の区画番号	—	—
	溢水防護上の高さ 配慮が必要な高さ	—	—

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 鏡板の中央部における内面の半径を示す。

(注4) 鏡板のすみの丸みの内半径を示す。

・常設

		変更前	変更後
名称			非常用ガスタービン発電機 燃料油貯油槽
種類	—		横置円筒形
容量	kℓ/個		以上 ^(注1) (200.0 ^(注2))
最高使用圧力	MPa		大気圧 ^(注1)
最高使用温度	℃		40 ^(注1)
胴内径	mm		4,600 ^(注2)
胴板厚さ	mm		■ ^(注2) (20 ^(注2))
鏡板厚さ	mm		■ ^(注2) (20 ^(注2))
鏡板の形状に係る寸法	mm		4,600 ^(注2,3) 460 ^(注2,4)
燃料油取出口管台外径	mm		60.5 ^(注2)
燃料油取出口管台厚さ	mm		■ ^(注2) (3.9 ^(注2))
全長	mm		13,824 ^(注2)

主要寸法

(続き)

		変 更 前	変 更 後
材 料	板	—	SM400B
	鏡	—	SM400B
個	数	—	2
取 付 箇 所	系 統 名 称 (ラ イ ン 名)	—	非常用ガスタービン発電機 燃料油貯油槽3B B非常用ガスタービン発電機 燃料油ライン
	設 置 床 面 番 号	—	非常用ガスタービン発電機 燃料油貯油槽3A A非常用ガスタービン発電機 燃料油ライン 屋外 EL. 24.6m 地下埋設
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	屋外 EL. 24.6m 地下埋設
溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	—

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 鏡板の中央部における内面の半径を示す。

(注4) 鏡板のすみの丸みの内半径を示す。

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し、可搬型の場合は個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
非常用発電装置	—	—	—	—	—	非常用ガスタービン発電機	(注2) 0	(注2) 40	60.5	3.9	STPT370
						燃料油貯油槽	(注2) 0.5	(注2) 40	60.5	3.9	STPT370
						非常用ガスタービン発電機 燃料油移送ポンプ	(注2) 0.5	(注2) 40	48.6	3.7	STPT370

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用発電装置						非常用ガスタービン 発電機 燃料油移送ポンプ ~ 非常用ガスタービン 発電機 燃料油サージスタック	(注2) 0.5	(注2) 40	34.0	3.4	STPT370
							(注2) 0	(注2) 40	48.6	3.7	STPT370
非常用発電装置						非常用ガスタービン 発電機 燃料油サージスタック ~ 燃料油こし器	(注2) 0	(注2) 40	48.6	3.7	STPT370
							(注2) 0	(注2) 40	42.7	3.6	STPT370

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用発電装置						非常用発電装置					
						燃料油こし器 ～ 非常用ガスタタービン 発電機 ガスタタービン	(注2) 0	(注2) 40	42.7	3.6	STPT370
									60.5	3.9	STPT370

(注1) 公称値

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(5) 発電機に係る次の事項
 イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）
 ・常設

変 更 前		変 更 後	
名 称	非常用ガスタービン発電機		
種 類	横置・円筒回転界磁形・開放保護形 (IP20)・自由通流自力通流形・三相同期発電機		
容 量	6,000		
主 要 寸 法	たて	3,205 (注1)	
	横	2,200 (注1)	
	高さ	1,973 (注1)	
力 率	80 (遅れ)		
電 圧	6,900		
相	-3		
周 波 数	60		
回 転 速 度	1,800		
結 線 法	星形		
冷 却 方 法	空冷		
個 数	1		

(続き)

		変 更 前	変 更 後
取 付 箇 所	系 (ラ イ ン 名) 名	--	非常用ガスタービン発電機
	設 置 床	--	非常用ガスタービン発電機建屋 EL. 32.7m
	溢水防護上の区画番号	--	GT-2-A
	溢水防護上の高さ 配慮が必要	--	EL. 33.5m以上

(注1) 公称値

ロ 励磁装置の名称、種類、容量、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

（非常用ガスタービン発電機）

		変 更 前	変 更 後
名	称		非常用ガスタービン発電機励磁装置
	種	—	静止励磁装置
容	量	—	50
個	数	—	1
取	系	—	非常用ガスタービン発電機
	統	—	非常用ガスタービン発電機建屋
付	置	—	EL. 32.725m
	床	—	GT-2-B
所	溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の高さ配慮が必要な高さ	—	EL. 32.725m以上

ハ 保護継電装置の名称及び種類
(非常用ガスタービン発電機)

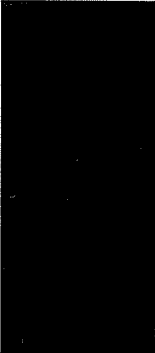
		変 更 前	変 更 後
名	称		非常用ガスタービン発電機保護継電器
	種	—	(a) 自動遮断用 比率差動継電器 過電流継電器 (b) 警報用 地絡過電圧継電器 過電圧継電器 過負荷継電器 低電圧継電器

ニ 原動機との連結方法
(非常用ガスタービン発電機)

	変更前	変更後
連 結 方 法	—	直結

検査結果一覧表

成績書管理番号：07

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 11月25日	良	吉村直樹	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年 11 月 25 日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年11月25日

検査場所：伊方発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

四国電力株式会社伊方発電所第3号機 使用前検査記録
(五号検査)

成績書管理番号：07

検査年月日：令和2年11月25日

検査場所：伊方発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 消火設備 容器 主配管 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
総合設備検査 (検査記録の確認検査) ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査 ・耐圧検査 ・漏えい検査	設備及び機器が工事計画に 従い製作され、据付けされ、 所定の性能を有しており、 技術基準に適合するものであること。	良	記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： SIN3-GT1-1102, SIN3-GT1-1114, SIN3-GT1-1115			

別添1 (1)
(令和2年11月25日)

2 消火設備に係る次の事項

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変更前	変更後
名 称				ハロンポンベ (非常用ガスタービン発電機建屋)
種 類	—			溶接容器
容 量	ℓ/個			■ 以上 (注1)
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	267.4 (注1)
	高 さ	mm		1,515 (注1)
	胴 部 厚 さ	mm		■ 以上 (注1)
	底 部 厚 さ	mm		■ 以上 (注1)
材 料	—			SM520B
個 数	—			19

別添1(2)

令和2年11月25日

(続き)

		変更前	変更後
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	ハロン消火系統
	設 置 床	—	非常用ガスタービン発電機建屋 (EL. 32.7m : 7本 (注2) EL. 41.0m : 12本 (注3))
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—

(注1) 公称値

(注2) ハロン消火装置 (グループG1) : 7本

(注3) ハロン消火装置 (グループG2) : 5本、ハロン消火装置 (グループG3) : 4本、
ハロン消火装置 (グループG4) : 3本

別添1(3)
(令和2年11月25日)

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
						グループG1 ～ 弁3V-FSG-C9, 弁3V-FSG-10, 弁3V-FSG-11, 弁3V-FSG-12, 弁3V-FSG-13, 弁3V-FSG-14 及び弁3V-FSG-15	5.2	40	42.7 48.6 76.3 89.1	3.6 3.7 5.2 5.5	SUS304TP
						弁3V-FSG-11 ～ GT/B-4	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						弁3V-FSG-12 ～ GT/B-3	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP
						弁3V-FSG-15 ～ GT/B-13	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP
						弁3V-FSG-14 ～ GT/B-12	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						弁3V-FSG-10 ～ GT/B-15	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
消 火 設 備											
消 火 設 備											

別添(4)
(令和2年11月25日)

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						弁3V-FSG-09 ~ GT/B-7	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
						弁3V-FSG-13 ~ GT/B-6	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
						GT/B-6 ~ GT/B-14	5.2	40	60.5 76.3	3.9 5.2	SUS304TP
						グループB2 ~ GT/B-5	5.2	40	60.5 89.1	3.9 5.5	SUS304TP
						グループA3 ~ 弁3V-FSG-04, 弁3V-FSG-05, 弁3V-FSG-06 及び弁3V-FSG-07	5.2	40	48.6 89.1	3.7 5.5	SUS304TP
消火設備						消火設備					

別添(5)
(令和2年11月25日)

変 更 前				変 更 後													
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料						
消 火 設 備						弁3V-FSG-06 ～ GT/B-11	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP						
						ダルーブ/G4 ～ 弁3V-FSG-01, 弁3V-FSG-02 及び弁3V-FSG-03	5.2	40	34.0 42.7	3.4 3.6	SUS304TP						
						弁3V-FSG-01 ～ GT/B-8	5.2	40	89.1	5.5	SUS304TP						
						弁3V-FSG-03 ～ GT/B-16	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP						
						弁3V-FSG-02 ～ GT/B-9	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP						

(注1) 公称値

(5) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し、可搬型の場合は、個数及び取付箇所を付記すること。）
 ・常設

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
消 火 設 備						非常用ガスタワーピン発電機 建屋付近屋外消火栓 供給ライン分岐点	1.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
						非常用ガスタワーピン発電機 建屋屋外消火栓 供給ライン分岐点					
消 火 設 備						非常用ガスタワーピン発電機 建屋屋外消火栓 供給ライン分岐点	1.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						非常用ガスタワーピン発電機 建屋消火水 供給ライン分岐点					

(注1) 公称値

別添1(6)
 (令和2年11月25日)